

「てくてくサークル」とは・・・

てくてくサークルでは、今年も昨年度以上の企画をと考えております。

てくてくサークルの素晴らしさをご存知ない皆様に、先ずは 18 年度の取組みを案内させて頂き、今年こそ是非共と、お誘いさせて頂くものです。

18 年 9 月に、第 52 回「鞍馬山を歩く」として、仁王門から由岐神社、本殿へと歩を進め、帰りはケーブルで、鞍馬川畔の食事場所へと云う企画では有りましたが、台風 21 号の襲来で止む無く中止しました。

満を持して、紅葉盛んな 11 月には、大河内山荘を訪ねました。先ず、野宮神社の副宮司から、伊勢神宮に仕える皇女が滞在して身を清めたと云う謂れや黒木の鳥居についての説明を受けた後は竹林の道から大河内山荘へ、そして亀山公園までと、秋を堪能した半日となりました。

年が明けた 3 月には、事前の参観許可を必要とします修学院離宮巡りを実現しました。およそ 54 万㎡の敷地の下離宮から中離宮、上離宮へと、丁寧なガイドと宮内庁職員にガードされながら、少し疲れはしましたが、春の気配を感じ乍ら、ゆるりとした時間を過ごし、その後は高野川畔の山端平八茶屋での食事を楽しみました。

記念の第 55 回は、鶴飼会員の紹介で、生きた薬草の博物館であります京都薬草植物園を訪ねました。緑濃い鷺森神社を通り抜け、御幸橋を渡って曼殊院道へ、そして事前に許可が無ければ入園出来ないと言う施設で、優しい語り口の説明を受けながら、私達だけの贅沢な時間と空間を味わいながら、見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れるの五感と体力を養う「てくてく」となりました。

「てくてく」の素晴らしさをご存知の無い皆様、今年こそご参加をお待ち致します。